

2020.7.9(木)
第2回例会
(通算 3596回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博
副会長 土橋 賢一
幹事 荒井 剛
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2020-2021年度
国際ロータリーテーマ



ロータリーは世界の扉を開く
2020-2021年度
RI 会長 ホルガー・クナーク
第2500地区ガバナー
松田英郎 (富良野 RC)

月間テーマ

本日のプログラム ガバナー公式訪問例会 (担当: 理事会)

次週例会 写真から語る釧路の今昔物語 (担当: プログラム委員会)

■ロータリーソング: 「四つのテスト」 ■ソングリーダー: 川合 隆俊君

■会員数 95名

■ビジター RID2500

松田 英郎ガバナー・軽米 達也地区幹事・日里 雅至地区大会実行委員長

奥平 康博地区副幹事

第7分区

石田 博司ガバナー補佐・工藤 彦夫ガバナー補佐幹事

樋口 貴広ガバナー補佐幹事・青木 泰憲ガバナー補佐副幹事

会長の時間

舟木 博会長



皆さん、こんにちは。まずは最初に本日、キャッスルホテルにおいて17時15分より30分ほど松田ガバナーとの「会長・幹事懇談会」を滞りなく終了いたしました。

松田ガバナーには当クラブの活動計画書をお渡しして、チェックをしていただく形で執り行いました。クラブ協議会のない変則的な形になりましたが、この厳しい時でありますので、仕方ないかなと思っております。

また、厳しい指摘を覚悟しておりましたが、終始なごやかな雰囲気は無事終わることができました。

また、同時に新入会員オリエンテーションを脇パスト会長の作成したマニュアルで無事終了したことを報告いたします。

さて、本日の第2回目の例会は、私にとって楽しい出来事が2つあります。まず、第一に本年度のRI

2500地区松田英郎ガバナーと再会できたことです。

そして、釧路クラブ会長として最初の新入会員の皆さまと出会えたことです。

よく「人の出会いは偶然だ」という人がおりますが、私は決して偶然はないと思っております。偶然ではなく必然だと思っております。ある意志を持って行動した結果でしか、人と人の出会いの接点は生まれませんと思っております。今日はロータリーという接点が出会いを生みました。本日、入会された3名の会員の名前、織田亨君・山田浩司君、田内康章君、この名前はたぶん私がボケるまでは忘れない名前になると思います。これから数年間、ぜひ釧路の冷涼な気候と美味しい海産物。そして、釧路人の人情をメンバーとともに堪能されることを望んでいます。

さて、松田ガバナーとの縁でございますが、実は以前にお会いしたことがあります。2018年5月、タイのカンチャナブリの地区グローバル補助金を使った事業に、当時の郡会長とともに釧路ロータリークラブのメンバー8人で参加した時にお会いしておりました。その時は、私と副会長の土橋君、幹事の荒井君と今年の三役全員が参加しており、松田ガバナーとの縁を感じております。

当クラブからは吉田パストガバナー、現・副ガバナーと、第7分区の石田ガバナー補佐を輩出しており、クラブとしての縁も感じております。本年度は世界大会・ウォントゥー 台北には姉妹クラブの台北中央クラブもあり、25名程度の参加を予定しております。台北の地で松田ガバナーのスタッフの皆さんとご一緒できるのを楽しみにしております。

最後になりましたが、今年1年の松田ガバナーのご健勝と地区大会の成功をご祈念して会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

新入会員紹介

スポンサー 五明 正吉君



こんにちは。私から本日、新しく入会される方をご紹介します。お名前は織田 亨さん。ご職業は株式会社北洋銀行釧路中央

支店の支店長さんです。前任の阿部さんも皆さんと仲良くさせていただきましたが、この度、織田さんに代わる形で釧路へ赴任されました。年齢はちょうど60歳、前任の阿部さんよりは少しいつていますが、阿部さんの方がいつているような気がします。それはそれとして、新しく入会をされることになりました。

ご家族は奥さまと男のお子さまと女のお子さまのお2人で、単身赴任だそうです。趣味は「山登りと旧所名跡を巡るのが好き」ということです。釧路も道東いろいろ旧所名跡ございます。末広の方もいろいろ名所がありますので、ぜひ回っていただければと思います。スポンサーは私と栗林延次君です。お酒は皆さんとゆっくり飲めるだけのお力を持っているということです。ぜひ皆さま、これから2年、3年になるかわかりませんが、いいお付き合いをしていただいて、素晴らしいロータリーライフ送れるようにご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、織田さんからご挨拶お願いします。

新入会員

(株)北洋銀行 釧路中央支店

常務執行役員 織田 亨支店長



ただいま、ご紹介いただきました北洋銀行釧路中央支店の織田でございます。よろしくお願い申し上げます。

小樽中央支店からまいりました。小樽時代も小樽ロータリークラブに1年と少し参加させていただいております。今般はこの歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに在籍できること、大変光栄に思っております。奉仕の精神に則り、一生懸命皆さんと一緒に努力させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

スポンサー 五明 正吉君



何回も見苦しい顔ですみません。それでは、お二人目の新入会員をご紹介します。お名前は山田浩司君。北海道旅客鉄道株式会

社釧路支社の支社長です。前任の萩原支社長さんの後任ということ。ご家族は奥さまとお子さま2人で、こちらには単身赴任です。現在、53歳です。

お酒も問題なく皆さまとお付き合いできるということです。ご趣味はスポーツ観戦とテニスで、先ほどの織田さんも山田さんもゴルフはしないということで、あまり冷たくしないように。夜はいくらでも付き合うそうです。よろしくお願い申し上げます。

それでは、山田さんからご挨拶お願いいたします。

新入会員

北海道旅客鉄道(株) 釧路支社

山田 浩司支社長



ただいま、ご紹介いただきましたJR北海道釧路支社長をしております山田です。

この度は伝統・歴史のある釧路ロータリークラブに入会をさせていただきます。大変光栄に思っております。皆さま方とこれから様々な活動を行っていくことを楽しみにしております。早く慣れて、皆さまと一緒に活動して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

スポンサー 小野寺 俊君

皆さん、こんにちは。本日、ご入会されました田内康章さんをご紹介させていただきます。本来ですと共にスポンサーである五明さんにご紹介いただくところですが、本日入会される方々は全て五明さんがスポンサーということで、田内さんは私からご紹介さ



せていただくことになりました。また私は、新入会員のご紹介は初体験で、そつがなくできるかどうか不安ですけれども、ご紹介させていただきます。

きます。

田内さんは、3月末に旭川へ転勤されましたサントリービバレッジサービスの小林支店長の後任としてこの春に釧路に赴任されました。コロナ禍の中で外出もままらなかつたと思いますが、約3カ月が過ぎまして釧路の生活にも慣れてきたところと推察します。

田内さんが釧路クラブに入会していただけたことにクラブを代表して、歓迎の意を申し上げたいと思います。田内さんは昭和59年生まれの36歳ということで、たぶん釧路クラブ最年少会員と思います。また、1月生まれで、私も同じ1月生まれで、親近感がわいているところです。ご家族は札幌市に奥さまと2人の息子さんがおまして、釧路へは単身赴任で勤務されています。趣味は音楽鑑賞で、ゴルフはしないようですが、麻雀は嗜んでいるようです。当クラブ内にも麻雀愛好家も数多くいますので、機会があれば、ぜひお声掛けいただきたいと思います。

名前が横浜ベイスターズの山崎康晃投手と同じですので、夜の懇親の場でぜひとも「やすあきジャンプ」を披露していただいて、釧路クラブを今後盛り上げていただけると大変嬉しいです。

それでは、田内さんより一言ご挨拶をお願いいたします。

新入会員

サントリービバレッジサービス(株)

田内 康章支店長



ただいま、ご紹介にあずかりましたサントリービバレッジサービスの田内と申します。以後、よろしくお願いいたします。この度は伝統と歴史のある釧路ロータリークラブに参加させていただき、誠に恐縮なのですが、ただ今ご紹介にあずかりましたとおり36歳でまだまだ若輩者ではありますが、皆さまのご寵愛と可愛がっていただけたらと思っております。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

(舟木会長から ネームプレートとバッジの贈呈)

(松田ガバナーから 記念バッジの贈呈)



歓迎のご挨拶 舟木 博会長

新入会員の皆さま、よくぞいらっしゃいました。この大変な時期に当クラブに入会いただき、誠にありがとうございます。時節柄、入会おめでとうございませうと言いますが、おめでとうではないだろうということで、「ありがとうございます」という言葉を重ねて申し上げます。

本年度のR I会長ホルガー・クナーは「ロータリーは機会の扉を開く」と申しております。新入会員の皆さまにはこれから数多くの例会に参加されて、多くの出会いの機会をもたれ、ロータリーの開かれた扉の向こうに一歩踏み込んで、新しい多くの友を得ることを願っております。そして、釧路クラブのメンバーは心より皆さまを歓迎いたしますことをお約束します。どうぞ、1日も早くメンバーの皆さまと馴染んでください。なお、3人の委員会配属は、織田君、田内君は親睦委員会です。佐藤委員長、よろしくお願ひいたします。山田君はクラブ会報・雑誌委員会です。水口委員長、よろしくお願ひいたします。

奇しくも3人とも名字に「田」の字が付いております。「織・山・うち、田・田・田トリオ」と覚えました。これからのロータリー活動、活躍を期待しております。短い挨拶ですが歓迎の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

■本日のプログラム■ ガバナー公式訪問例会

国際ロータリー 第2500地区 松田 英郎ガバナー

今日、抗体価を調べて来たのですが「感染していない」というので、もし今後感染したら、この会で私は感染したことになります。でも、決して追跡捜査はするつもりはありません。



小船井パストガバナーと出会って、話がくどくなるようになってしまったのですが、今日はお許してください。小船井さん、すみません。

皆さん、こんばんは。ガバナーの松田です。まずもってガバナーエレクト研修会、国際協議会に皆さまの人頭分担金の一部を使わせていただきましたことにお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

私のホームクラブは富良野クラブです。1993年に入会しました。職業分類は外科医です。40年間、医師として患者さんを前にしてお話することはリラックスしてできるのですが、ロータリー関係のお話となると分からないことがまだまだ多くて、自信がありませんので少し緊張しております。ガバナーだからといってロータリーに精通しているわけでもございませんし、多くの先輩ロータリアンのいる前でしっかりと話ができるかどうか不安です。

今回が1回目のガバナー公式訪問です。ガバナー公式訪問にはルールがあるようです。まず、成り立てほやほやの吉田潤司パストガバナーに対し、「お疲れさま」での慰労と、1年間の活動に敬意を表し釧路クラブさんにお邪魔しました。どうもお疲れ様でした。

先ほど、お話もありましたけども、釧路クラブさんと私はガバナーノミニの2018年5月にグローバルブランドのプログラムで舟木会長、当時の郡会長、後藤幹事、また多くの釧路クラブのメンバーと一緒にタイのカンチャナブリに同行させていただき、お世話になったことを思い出します。その節は大変お世話になりました。ありがとうございます。

また、今年度の地区諮問委員の清水パストガバナー、地区研修委員長と地区規則手続委員長の小船井パストガバナーもおられ、今年の準備段階から大変お世話になっているところです。この場を借りてお礼を申し上げます。

早速、卓話をさせていただきます。正直言ってあまり期待はしないでいただきたいと思えます。

まず、自己紹介をいたします。この写真は国際協議会前夜の歓迎レセプションの時の写真です。ホルガー・クナークさんを見つけて、ちゃっかり写真を撮りました。我ながら自分の積極性に呆れています。私は昭和30年生まれで羊年です。生まれた所は旭川市で、父親は石狩当別町出身、母親は中標津町の計根別が出身です。その関係もありまして、道東方面は旅をする機会が多くて、いろんな所に行っています。

私の履歴ですが、いろいろ書いてあります。父親の仕事関係で幌加内町、門別町、雄武町に住んで、あとは旭川市。そして、大学は金沢医大を卒業して、旭川市に研修医で戻ってきました。その後、研修をしていた時に釧路休日夜間診療所にも何遍か当直に来たことがあります。その当時は休日夜間診療もかなり混んでいて、非常に辛い・厳しい、そして仕事をしたとい

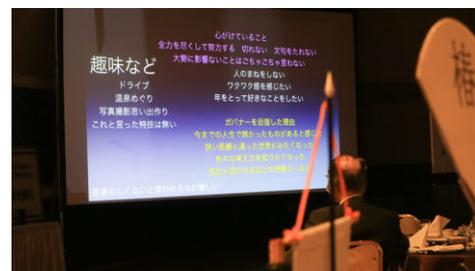
うのを覚えています。旭川に戻ってきてから縁があって、富良野市で1991年に開業するきっかけになりました。その後、93年に開業時にお世話になった方のスポンサーでロータリークラブに入会させていただきました。これは北海道の地図ですが、赤いポッチが付いた所が私の泊まった所です。北海道はいろんな所に行っています。開業してから30年経って、まとまった休暇を取った

ことはほとんどありません。ウィークデーは自宅と病院と行ったり来たりして、週末はできる限り地元を離れて温泉に行ったり、ドライブしたりしていました。去年は吉田ガバナーでしたので、釧路から帰りに車を運転して阿寒湖に寄ったり、いろいろ楽しませてもらって本当にありがたいと思います。

北海道はかなり広くて、2500地区もこうですから四国よりも大きいですし、北海道は日本の面積20%です。なのでかなり広い地区で、半分に分けると10%は北海道の東地区・2500地区ということになります。

趣味や心がけていること、ガバナーを目指した理由を簡単に箇条書きにしました。今のガバナーという立場になる前ま

ではいろいろなきさつがありましたが、このまま生活を続けて



行って肉体的にも毎年のように衰えて、仕事をこなすのも時間がかかるようになって、忙しく人生を過ごして終わるのは寂しい、と考えておりました。「これじゃいかん」と一念発起して、趣味も特技もないので「ロータリーで居場所を見つけたい。ガバナーを目指したい」と富良野クラブのメンバーにお話をさせていただきました。ガバナーの立場まで、そこまで飛躍しても良さそうなものですが、地区の行事で「〇〇パストガバナー」と紹介されて、元気よく返事をして、その後おいしい料理とお酒を飲めて、全国各地同期のガバナーの大会などに夫婦で行けるとというのが魅力だったわけです。極めて不謹慎な動機です。メンバーの中には、私の申し出に困惑された方も多かったと思いますが、「違った景色を見たいので、このわがままを許してほしい」とお願いをしました。

それからのロータリーの会合は楽しいことばかりで、元気に活躍されているロータリアンに巡り合うことの喜びは、目から鱗の貴重な体験でした。ただ、残念なことは思惑と違い、「パストガバナーは始まりだよ」と言われたことです。「終わってから地区のためにロータリーを支えていく義務があって、ロータリアンとして成長しなければならない責務がある」ということです。70歳まではロータリーの仕事に関わり、皆さま

と楽しんで参りたいと思っております。

私の人生設計ですが、開業して病院の仕事が中心でした。36歳の時に開業しましたが、医師の定年をイメージしてビジョンを描きました。ロータリーでも戦略会議の重要性を強調しており、ホルガー・クナーケRI会長も各クラブに「会議を開催して5年後のビジョンを明確にする」を強調しています。皆さまの職業でも目標を持って経営をされていると思いますが、達成目標をどう迎えるかを考えている方もおられるでしょう。ロータリー活動には終わりはありませんが、「どのように関わるか」を決めることはクラブの活性化には必要なことと考えます。私の人生設計図はともかく、年度の終わりを意識すると行動計画をいくら練っても足りないと思います。

さて、最近入会した方、今日入会した方もいますし、入会後間もない方もいらっしゃいます。基礎知識を確認しましょう。

現在、世界のロータリアンの数は約119万人です。



世界の地区とクラブ数は36,058。インドで増えてきて、北米を上回る伸びです。

世界の国・地域は200以上で、世界には僕の勘違いかもしれませんが、523地区になったと言われています。日本にはそのうち34地区ありまして、日本のクラブ数は2,248クラブ、会員数は88,309名。これは4月までのデータです。2500地区は67クラブあって、会員数は2281名です。日本にはインターアクトクラブは622あって、ローターアクトクラブも297クラブあります。

現在、世界も、2500地区も会員が徐々に減ってきています。今後、新型コロナウイルスの感染症の拡大でどのくらい減少するかまだ見当はついていません。今までのRI会長は会員増強を強調しておりました。前会長のマローニーさんも「穴の開いたザルに水を入れる」といった表現で、退会防止を強調されました。なぜ、日本のロータリアンは減っていくのでしょうか。スライドは日本の人口の推移です。2005年をピークにして人口が減ってきています。今後ますます高齢化が進んできています。人口減少は会員の減少に関連していると考えられます。そして、この度の新型コロナウイルス感染症が経済的にどのような影響を与えるか注視しなければなりません。

今、ロータリアンであることの根本的なことを考えています。クラブ会員を維持・増強するには辞める人以上に入会があれば良いと思いますが、辞められた方がロータリーの素晴らしさを分からないで退会すること

は、本人にとってもクラブにとっても非常に不幸なことです。今から尋ねる質問をヒントにいただければありがたいと思います。そして、それが会員減少のスパイラルを脱出できるヒントが見つければいいような気がします。

なぜ、ロータリアンになったのでしょうか。数あるボランティア団体の中でロータリーをなぜ選んだのか。「先輩に勧められた」「後任であった」「友人に勧められた」「親がロータリアンであったから」「元請け・業界の関係で入会せざるを得なかった」「立派なロータリアンの活動に感動して入会したかった」「自分の商売にメリットがあると思った」「何となく入った」と、いろいろな理由があると思います。私にとっては、理由はそれほど問題でないと考えています。入り口はどの入り口でいいと思います。入ってから興味を持ってほしいと考えております。会員のモチベーションに温度差があってもいいと思います。まず、ロータリアンであり続けることに意味があるので、あり続けることでメリットと素晴らしさを感じ取っていただけます。

しかし、皆さまのサポートは忘れてはなりません。ロータリーって何だろう。今これを言える人は相当にしっかりとしたロータリアンだと思います。目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこととあります。ロータリーの使命は職業人と社会人のリーダーのネットワークを通じ、人々に奉仕し、好決算を奨励し、世界理解・親善・平和を推進する。正直いって私は何を言っているかよく分かりません。

そして、ロータリーにはロータリー財団という組織があります。ロータリー財団は寄付を受付、資金を分配しロータリーの使命を果たすために共に活動しています。ロータリー財団は慈善団体のチャリティーナビゲーターという格付けで11年連続の最高評価を受けており、信頼できる組織です。実に寄付金の91%がプログラムに活用されています。ちなみにユニセフは81%です。われわれは誇りをもって「ロータリアンだ」と自慢できる立場にあるということです。「アイアムプラウドメンバー」です。これらのことを少しずつ学んで成長すればいいと思っております。

なぜ退会しないか。「クラブでやりたいことある」「クラブで役職についてしまった」「もっと知りたいことがある」「居心地がいい」「どちらかといえば楽しい」「何となくやめられない」、などあるでしょう。高い会費で、例会も頻回で、奉仕活動にストレスも感じている方もいらっしゃるでしょう。

「辛いからやめたい」という方には説得しましょう。会費はもったいないと感じても、やめたいと感じたら我慢して例会にでること。やめたい理由を見つけるのではなく、やめたくない理由を考えることが重要です。「目的が見えない」などクラブに不満があってもやめたら駄目です。やめたら「体調不良」や「余命が短い」

「家族に問題がある」「奥さんが逃げた」とかいろんなこと言われます。

続けていけば、少しずつロータリーのことが分かってきますし、だんだん好きになってくるはずです。嫌なことでも、好きだと言いつつ聞かせれば好きになり、楽しめるようになります。

なぜ入会を勧めるか。わざわざ会費を払って奉仕活動をする団体になぜ入ろうと誘うか。「仲間を増やしたいから」「いいことがあるから」「会員増強委員会になったから仕方なく」などいろいろとあります。「入会してどんなメリットがあるの」と言われるかもしれません。ロータリーが与えてくるものはたくさんあります。私が身をもって感じています。友情、リーダーシップと職業人としての成長、個人としての成長、世界に触れる機会、地域社会のつながり、倫理原則、家族向けの機会、人前で話す能力、地区での活躍の機会、があります。このように無形ですが見返りがあります。強調してみましょう。これらのなぜを丁寧に示してあげれば入会のきっかけとならないでしょうか。

私はなぜガバナーになったか、今一度説明いたします。単純に「見えていない世界を見たい」ということです。前段で話しました、「歳をとって、今までの仕事だけで死んでいくのが寂しく感じた」。富良野クラブだけで、地区大会、IM、周年行事、世界大会にも決して多く参加したわけではなく、デューティーであった時にいやいや参加したことが多く、地区の活動も理解していませんでした。2300人の地区の仲間の活動も理解していませんでした。今から考えると「もったいないことをした」と思っています。立場が人を作り、それぞれの立場で見える景色が違うと思います。まさに私は素晴らしい世界に巡り合っています。この度のクラブ訪問も新しい出会いで、自分の成長があります。成長は歳をとっても嬉しいものです。ですから、参加は面倒だと思っても、思い切っているんなら参加してみましょう。

半年経ってもまだ得体の知れない『ウイルス』です。治療・予防も明確ではありません。多くの人々が亡くなり『ソーシャルディスタンス』という名の下で、隔離・封鎖・移動制限で今まで経験したことのない不自由な状況になっています。コミュニティが分断され、ロータリー活動の崩壊の危機を感じます。さらに、今の文化が死んでしまわないのかという不安がよぎります。このウイルスは『新しい生活スタイル』の名のもとに人間関係をズタズタに引き裂こうとしています。新型コロナウイルスはロータリーへの挑戦のような気がします。「常識」や「当たり前」がない世の中に困惑するばかりです。世の中の仕組みをすぐに変えることはできないので、慎重にクラブ活動を行う必要があります。数年後、収まるとは思いますが見通しが分からないばかりで、現状は対応の正解は分からないと言っ

てもいいと思います。世界のグローバル化に警鐘を鳴らしているのかもしれませんが。そして、お隣の国を冷静に見るきっかけになったかもしれない。これからニューノーマルという表現で、明らかにアブノーマルに生活しなければならない。しかし、今後、このことが絶対に善行の死にはならないと思います。知恵を絞り、世の中のために自分の職業を行いながら奉仕活動を行われなければならないと思います。

そして、これからますます「ロータリーに入会して良かった」と、新しい奉仕活動の開発をして現会員、入会を考えている会員候補にアピールするチャンスです。皆さまのワンランクアップした実力を発揮する機会です。

さて、国際ロータリーは何を目指しているのでしょうか。R Iの戦略計画は2024年までの5年間で中核的価値観、ビジョン声明、行動計画を示し、ロータリアンに発信しました。ご承知のとおり今年度のホルガー・クナーケR I会長は『ロータリーは機会の扉を開く』とテーマを掲げられました。地区チーム研修、P E T S地区研修協議会でビデオをご覧になり、皆さまの活動計画にも掲載されているものと思います。彼は多くのメッセージを発信しています。今までのR I会長のテーマをこの10年のR I理事会の決定と重ね合わせますと方向性が見えるようです。

10年前の2010年、「中核的価値観」「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」が発表されています。2014年に「入りて学び、出でて奉仕せよ」から「Join the Leaders Exchange Ideas Take Action」に変更されたスローガンが掲げられています。具体的にアクション・行動を起こすを強調されました。2016年、「柔軟性の導入」が決定され、私もロータリーはどこへ行ってしまうんだろうかと疑問に感じましたし、職業分類の人数の枠を外し、職業奉仕をないがしろにするように感じ、R Iの方針は日本のロータリアンにとって、到底受け入れられないと正直感じました。会員増強・寄付集めを要求する姿は、私も日本のロータリアンは親睦と職業の奉仕を中心とした理念から築き上げられていましたので、R Iが資金集めの目的ではないかと疑ってしまいました。Eクラブがクラブ形態のひとつの形に認められたのもこの頃で、リモートの例会を認め、柔軟性の名の下に強引に会員増強を図るようになってきました。

さらに2017年、ビジョン声明を発表し、その行動計画が作られました。自分自身の中で、地域社会で、世界で、良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指すというのが趣旨です。ビジョン実現のために4つの行動計画が示されました。「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的な関わりを促す」「適応力を高める」といった具体的な行動計画が示されました。ビジョン

声明は今後のロータリーの拡大をするための指針であり、R I 会長の共通のスローガンでもあります。

2017-2018 年度から過去の R I 会長のテーマを振り返ってみましょう。スライド下からライズリーさんの『変化をもたらす』、バリー・ラシンさんの『インスピレーションになろう』、マローニーさんの『ロータリーは世界をつなぐ』、ホルガー・クナークさんの『機会の扉を開く』。これは見事にビジョン声明を達成するための戦略計画に則ったテーマのように感じます。今までの流れを理解していただきながら、地域社会の奉仕活動をするのが目指していることなのかもしれません。

ここで私の使命であります、クラブ訪問の際に伝えてほしいことが4つあります。「新しい革新的なクラブモデルを作ること」「毎年少なくとも1回の戦略会議を開いてほしい」「新会員を注意して選びましょう」「ポリオ根絶のための寄付と10月の世界ポリオデーに合わせたイベントの開催をお願いします」。このホルガー・クナークさんの伝えてほしい中に「基盤を広げる、適応力を高める、積極的な関わりをもつ、インパクトを与える」の地域戦略計画が示されているように思います。

ここで私が国際協議会から帰ってきて作ったポリオ募金箱をお見せします。この募金箱を帰るところの受付に置きます。目標は1人30ドルなのですがお気持ちで結構です。募金箱に入ったお金を私が持って行くのではなくて舟木会長にお渡ししたいと思っています。少し歪んでいますがAmazonの箱をうまく四角く作ってます。本来はローターアクトに作らそうと思ったのですが、私が作るはめになってしまいました。

ここで新型コロナウイルスのパンデミックで、奉仕団体キワニス、ライオンズクラブ国際協会、オプチミストとの共同声明が発表されました。マイ・ロータリーにも書いてあります。それを紹介したいと思います。「新型コロナウイルスに対する世界的な取り組みは、全ての国の行動にかかっています。今こそ行動人である私たちが互いに手を取り、助けを必要とする人たちに迅速な支援を提供する時です」。

前会長のマローニーさんが言っています。「地区大会の目的も地区内の会員と地域社会のリーダーが一堂に会することでロータリーへの関心を深めさせ、関係を強化して、世界にロータリーのインパクトと奉仕活動を披露することにある」と変更されました。内輪のロータリアンだけの会以上の拡大が望まれているわけです。まだまだ出口が見えませんが、ロータリーがこの危機に立ち向かうことは責務だと思います。

最後にもう一つお願いがあります。今年はオリンピックは中止になりましたが、日本のロータリー100周年の記念の年であります。記念バッジはすでに販売されて、記念切手の販売が予定されています。書簡を送

ることはあると思いますので、この機会にお求めいただきたいと思っています。購入して100周年を祝おう。

これで終わりなのですが、まとまりのない卓話でしたが、仲間を増やす私の考え方と国際ロータリーの示すところを中心にお話させていただきました。

今年1年、ともに次世代へつなげるような活動ができるように一緒に頑張っていきたいと思っています。1年間よろしくお願ひいたします。

それと、吉田パストガバナー、お疲れ様でした。木下幹事を含め釧路クラブのメンバー皆さまへの感謝と、三ツ石さん、本当にどうもありがとうございました。それと、たくさんの持参金ありがとうございます。最後になりましたが釧路クラブのますますの発展と、コロナ禍で会場設営していただいたキャッスルホテルの従業員の皆さん、ありがとうございます。ちなみに2720地区、熊本・大分地区の豪雨災害の義援金のお願ひが間もなく行くと思います。皆さん、ご協力よろしくお願ひいたします。

これで卓話とさせていただきます。本日はご清聴ありがとうございました。

第7分区 石田 博司ガバナー補佐

本年度のガバナー補佐を仰せつかりました石田で

す。改めてよろしくお願ひいたします。松田ガバナーは「ワンランクアップを意識しなさい」。そして、それを受けてわが舟木会長は「クラブ



の資質の向上を目指す」。ランクアップ、資質の向上、どういうことかなど考えました。やはり今日もロータリーソングでありましたが、4つのテストにそれがあるのだらうと思うのです。そのことは「真実を自分は見抜いているかどうか」「果たしてその判断は公平かどうか」「自分は友情を深める行動をしているのか」さらに最後に「世のため、人のためになっているのかどうか」、これを大まじめに自分の行動の規範として生きたとすれば、その者が輝くんだと思うのです。そういう人が多いロータリークラブというのは当然輝いているし、街づくりを考える、一緒になんかやろうという時に大きなエネルギーとなるのだらうと思うのです。

まず、それを目指して今日から生きなきゃいけないな、と思ったところで今朝、目が覚めました。ありがとうございました。

会長謝辞 舟木 博会長

松田ガバナーにおかれましては、連日お忙しい中、大変ありがとうございました。お越しいただき、心より感謝申し上げます。

当初、ガバナー公式訪問例会を ZOOM によりウェブ形式を考えていらしたと思います。当クラブでは特に松田ガバナーに直接いらっしゃって、お会いして話を聞きたいと希望し、ご来訪のお願いをいたしました。松田ガバナーとの会長・幹事懇談会では本年度 R I 会長ボルガー・クラークの『ロータリーは機会の扉を開く』、そして地区会長方針の『ランクアップをしましょう』、この意味をよく解説していただき理解いたしました。松田ガバナーのお話を、これから 1 年間のロータリー活動に役立てさせたいと思っております。松田ガバナーにおかれましては、健康に十分留意されご活躍されることをご祈念申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

(ガバナー交換)



ガバナー公式訪問懇親会

乾杯のご発声 清水 幸彦パストガバナー



本日は松田ガバナー、ご苦勞様でございました。感慨深い話を聞いて嬉しく思います。さて、コロナがなければ間もなく東京オリンピック、オリンピック競技の中でリレー競技、あれはバトンタッチが一番大事だという。うちで申しますと、吉田さんと木下さんが頑張って前走者、後走者・松田さんにバトンを渡しました。あれが大事なことなんです。松田さんどうぞ元気に頑張って走り続けてください。それから、古い話ですけどペストが流行ったのが今から 700 年前の 14 世紀です。あの時、ヨーロッパでは人口の 25% が亡くなった。統計の取り方は違います。そして、この時にも「人類が滅亡する」と言われたのですけれども、その後に来たのは「文明復興・ルネッサンス」の花が咲きました。どうぞ、こういうコ

ロナに負けないで頑張っていきたいと思えます。それでは、皆さん、輝かしいロータリーの明日のために、皆さん一歩でも二歩でも前に進みましょう。ロータリーのために「乾杯！」ありがとうございました。

「R I 会長ビデオスピーチ」上映

松田 英郎ガバナー

いつも 7 月 1 日に「ガバナー会」がありまして、新人ガバナーが東京に集まって懇親を深めるのですが、今回はオンラインでの開催となりました。その時に、ホルガー・クナークさんにメッセージを送っていただきましたので紹介します。皆さまにも聞いていただくと、ためになるかと思えます。見ていただければありがたいと思えます。

地区大会のご案内

日里 雅至地区大会実行委員長

ただいま、ご紹介にあずかりました地区大会の実行



委員長の日里 雅至と申します。コロナの関係でいろいろと皆さまにご心配をおかけをいたしております。今の状況をお知らせしますと、10月に予定をし

ておりましたけれども少々厳しい状況かなと、いま考えております。新型コロナの関係でロータリーも、一般の方々も大変困っている状況にあります。地区大会をどうすると、はっきりと方向性を出したわけじゃありませんけど今の状況で、地区大会は、来年 5 月 28 日が富良野 60 周年でありまして、それに「一緒に祝いしたらどうか」というご意見もいただいております。もう少々お時間をいただきながら、富良野の中では 5 月 29 日を予定して検討いたしておりますので、決定次第皆さんにご案内申し上げますので、ワインとスキーと『へそ』の街・富良野においでいただきたいと思っております。北海道の『へそ』で皆さんをお待ちいたしておりますので、よろしく願いいたします。

松田ガバナーへ激励のメッセージ

吉田 潤司パストガバナー

皆さん、こんばんは。パストガバナー、10 日目の吉田です。こんなに違うんですね。終わった人と松田さんみたいに元気いっぱいの人とで。松田さんと私は共通点がたくさんあるんです。ひと回り違うんです。

頭から見ると松田さんが上に見えるのですが、実際は松田さん 1955 年生まれで私は 1943 年生まれです。しかも、誕生日は 7 月 23 日。



私は 25 日なのです。ほとんど同じなんです。ですから、たぶん性格も同じだと思うんです。中身はだいぶ違いますけども。松田さんに最初に会った時、私は「あなた本当にお医者さんなの」と言ってくらい楽しい人でした。

私もちょうど 1 年前の 7 月 10 日に帯広から公式訪問始めまして、翌日には富良野に行きました。ちょうど脇さんと村上君と行きました。大変な公式訪問で、最初は大変楽しくていろんな所に行けて歓迎されまして、本当に天国みたいでした。でも、やっぱり最後までく疲れて、釧路の 3 クラブを残した時にすごい熱が出ましてダウンしたのですが、でも、ちゃんとこなしました。

松田さんは、若いといえども大変です。若さと松田さんの巧みな話術でぜひ乗り切ってくださいまして、われわれ迷える子羊を導いていただきますようお願いして、明日からまた頑張ってください。今日は本当にどうもありがとうございました。

締めのご発声

小船井修一パストガバナー

今日は親睦の委員長、ありがとうございました。パストガバナーが 3 人いるのは地区内のクラブでここだけです。そういう意味では、3 人のパストガバナーにご配慮いただいたこと感謝申し上げます。



私は、吉田パストガバナーと松田ガバナーの中間で、私は 1949 年生まれですから 6 歳ずつ違うのです。

今、ロータリーは本当に大変な状況です。先ほど、松田ガバナーから世界のロータリーアンが 118 万 9,000 人というお話がありました。今月現在ですと 118 万人を切っているはずで、9,000 人以上減少しているはずで、そういうところで、釧路クラブは底力があるクラブです。お一人お一人のお力を維持し、そして発展していただくこと、ご期待申し上げます。

そして、これから松田年度がうまくいくように皆さまとご祈念申し上げ、この場を締めさせていただきます。皆さん、ご起立いただいて三本締めで行きましょう。それでは皆さん、ご協力をよろしくお願いいたします。

松田ガバナーの退室（拍手）



本日のニコニコ献金

- 松田 英郎ガバナー
- 白幡 博君 炭火焼炉ばたちくぜん、オープンしました・

今年度累計 58,000 円